

■ ゲストスピーカー 国際ロータリー第2790地区ガバナー 青木 貞雄 様

2016-17年度ガバナーを拝命しております成田コスモポリタンRCの青木です。

地区大会は天候にも恵まれ、多数の皆様の参加をいただくことが出来、ありがたく思っております。

2008年国際協議会で自ら考案した職業奉仕を幹とする「ロータリーの樹」を発表すると共に、国内・国際ロータリーの要職を歴任された渡辺 好政 RI 会長代理 (RID2690PDGで元 RI 理事) による理解が容易なロータリーの基本、また、変化するロータリーへの対応等の話を伺うことが出来、多くの仲間との親睦を含め、皆さんも地区大会で何かを学んで頂いたのではと思っています。

さて、Germ RI 会長より、各クラブの状況把握、及び支援はガバナー補佐の務めであり、ガバナー公式訪問は、切磋琢磨するための複数クラブ間情報交換の場とするよう示唆があったため、本年度は、3クラブが6ヶ所、2クラブが18ヶ所と54クラブが合同、残り29クラブは単独で、7月27日から11月下旬の間に83クラブを53回に分けて公式訪問させていただき予定で、本日は、第41回68クラブ目です。

6月末の富津RCのRI脱会により、当地区の今期は83クラブ2,729名でのスタートとなりました。そして日本全体では、富津RCを含め、昨年1年間に6つのクラブが解散しました。

尚、私が所属する成田CRCのコスモポリタンは世界人を意味しますが、実態は地区外向経験者も少ない活動がdomesticなクラブなので、公式訪問の機会に各クラブの活動を体験させていただきたく、毎回2人の会員が私に同行しています。本日は、先ほどご案内のありました神谷会計担当地区幹事、及び藤崎地区幹事長が陪席させていただきますので、宜しくお願いします。

私にとって、千葉西RCは地区野球リーグを通じたお付き合いが深いのですが、活動計画書等を見せていただくと、姉妹クラブとの交流、インターアクトクラブ支援、地域奉仕活動等に積極的に取組むだけでなく、本年度も数多くの委員を地区に外向させていただき等、地区運営にも多大の貢献をいただいております。

このように幅広く活力ある活動を展開されている千葉西クラブですが、創立41年目に入って高齢会員も増えており、次世代に向けた若手会員の勧誘に力を入れる時期を迎えていると同時に、最近の会員の入退会が激しい状況の改善が求められているのではないかと思います。後ほどの協議会では、斯かる課題への対処につき、年齢・会員歴の面で幅広い階層の皆さんと、意見交換をさせていただければと考えています。

さて、本日は、1)RIのテーマ・方針、及び地区の行動指針・運営方針について、2)ロータリーの変化と対応という2つのテーマについて話をします。

John F. Germ 本年度 RI 会長は、

1. ロータリーに誘われた時点で、私達は、素晴らしい仲間と出会い、そして、人のために役立つことをする大きな機会を与えられる。世界には、多くの課題、助けを求めている人がいるが、我々に与えられた機会を生かすか否かは、我々一人ひとりの行動にかかっている。
そして、我々は様々な分野から集った熱心で有能な職業人の集団であり、世界を変える力、ネットワーク、及び知識の結集がある。
2. 我々は、ポリオ撲滅に取組んでいるが、ロータリーとは何か、そして何に取組んでいるかを地域に広め、資金援助者を含めた仲間、会員を増やすことが重要で、仲間が増えれば、我々はより大きな目標を達成することが出来る。
3. 単に会員を増やすのではなく、奉仕活動に取組み、4つのテストを真に実践できる会員、そして新入会員を暖かく迎え入れるリーダー、クラブが必要だ
4. P. ハリスがロータリーを創設した目的「価値観を分かち合える人を見つける」は現在も生きている。大切なのは、誠実さ、多様性、寛容、友情、平和を重んじ、人類への奉仕が人生最大の目的と信ずることだ。
5. ロータリアンは平等で、私たちはチームの一員だ。皆で協力して多くの人の人生を良いものにしよう。

と述べた上で、ポール ハリスと同様、人生最大の目的は人類に奉仕することと信じ、2016-17年度のテーマを「Rotary Serving Humanity=人類に奉仕するロータリー」としました。そして、対外的には、今やパキスタンとアフガニスタン、更に一旦終息が宣言されたが本年8月以降に3人の発症が伝えられているナイジェリア等における「ポリオの完全撲滅」、内部に向けては、より大きな目標を達成するための「会員増強」を重点取組み事項とすると共に、ロータリー戦略計画に基づき、a) クラブのサポート強化、b) 人道的支援の重点化と増加、c) 公共イメージと認知度の向上に努めるよう私たちに求めました。

私は、志を同じくする人の集団は、その目的追及び活発な活動の展開に仲間の拡大が欠かせないと考えます。ただ人数が多ければ良いという話ではありませんが、ロータリーも同じで、会員が多ければ多いほど、私たちは素晴らしい仲間と出会う機会が増えます。また、奉仕活動を含めた種々の活動を活発に展開できます。そして、結果的に地域における知名度が高まり、新しい仲間の輪の拡大に繋がると思います。

「ロータリーとは何ですか?」、また、「ロータリーは何をやっている団体ですか?」と聞かれ、答えに窮する会員も多いと思いますが、私は「価値観を分かち合う仲間との Fellowship、即ち、交友を通じて自らの人間性・人間力を高めると共に、自らの職業を通じ、また、出来る範囲で周りの人の役に立つことをする心がけを持つ人の集まり」と答えます。尚、ロータリーは、職業上の高い倫理基準を求めています。私は、倫理感とは、職業だけではなく、人間として社会生活をおくる上で身に着けるべき基本と考えます。ロータリアンとなって素晴らしい仲間との出会いを、また、他の人のために役に立つことが出来る機会を既に与えられている私達は、ロータリーに対して感謝の気持ちを持つと共に、この感謝の気持ちを分かち合う仲間の拡大に挑戦すべきと考え、今年度地区行動指針を「感謝と挑戦」としました。言い換えれば、私たちは、ロータリアンであることに感謝の念を持つことが出来るような活動に挑戦することが重要です。

さて、当地区会員数は、RI 第1ゾーン最大ですが、1995年4月の4,378名を peak に減少しました。2012年6月末の2,689名で底を打ち、その後わずかながら増加に転じ、本年6月末は2,739名でした。

しかし、地域特性もあり、当地区では2極分化が進んでいて、本年7月1日時点では、会員数が最大のクラブが80名に対し最少は5名です。

50名を超える大きなクラブが14、40名台9、そして30名台20。これらの総計は全体の5割強の43クラブです。

他方、残り40クラブは会員29名以下で、そのうち13クラブは会員が19名以下です。

3年前、私が地区クラブ奉仕委員長兼会員増強委員長を拝命した折、委員の皆さんと

アンケート調査等を行い、会員増強について色々研究した結果は以下の通りでした。

- 1) 会員減少期さえ、当地区では毎年200名超の新入会員が誕生していました。問題は、入会者と同数、あるいはそれ以上の会員が退会したことです。尚、このような知見に基づき、私が会員増強委員長を務めた翌年から地区の組織が、「会員増強・退会防止委員会」に改称されたことは、ご案内の通りです。
- 2) 後任が来る大手企業社員の職場間異動を別にすると、退会者の多くは、高齢者、及び入会5年末満、特に入会2~3年でロータリーについての知識と理解が未だ十分でない会員でした。
- 3) 会員歴5年末満の会員が退会する背景には、例会出席等の活動参加に時間的余裕がない、ロータリアンになったが活動に魅